

北海道地域福祉学会ニュース NO.20

2003年12月22日発行 / 編集 北海道地域福祉学会事務局

第3回定例研究会開催報告

第3回定例研究会は、11月20日(木)、道立社会福祉総合センター(かでの2・7)3階演習室において「ユニットケアの将来～これからの特養を展望する」をテーマに開催されました。参加者は会員の他、特養の職員等を含め36名と定員を越えました。帯広けいせい苑施設長の村上勝彦氏は、「ハード面でいくらユニットにしても、ソフトで高齢者との関係をしっかりとらなければ意味がない、逆に小規模である分閉鎖的になりやすいデメリットもある」と指摘されました。また、ケアの実践から、職員が高齢者にやらせようとするのではなく、高齢者自身が自分からやりたいと意欲的になるように内発支援の重要性を説かれました。職員の教育に対しても、「理念を検証し、具体的な理念を提示すべき。サービスの質はただ高いレベルにそろえるのがいいとは限らない、職員の個性を把握し、それを活かしていけるようにサポートしていくことが必要である」と強調されました。

これからの特養の展望としては、特養がその機能を地域で生かし、地域ケアを支援する基幹的施設となることが21世紀型の特養として期待されると話されました。

平成15年度成年後見・権利擁護セミナー開催のご案内

「高齢者・障害者の生活課題と権利擁護のあり方」をテーマに成年後見・権利擁護セミナーが下記の要綱で開催されます。興味のある方はぜひご参加ください。

1. 目的：地域で生活する高齢や障害は様々な生活地域で安心して暮らせるために地域福祉権利擁護事業や成年後見制度による支援が取り組まれています。地域における権利擁護システムの構築を学ぶことを目的に開催します。
2. 主催：主管 北海道社会福祉協議会 札幌市社会福祉協議会
共催(予定) 日本社会福祉士会北海道支部 札幌弁護士会 成年後見センター・リーガルサポート札幌支部
3. と き：平成16年1月29日(木) 10:30～16:00
4. と ころ：札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室(札幌市中央区大通西19丁目1-1)
5. 定 員：250名(先着順)
6. 参加費：2,000円(当日会場にて申し受けます)
7. 内 容：1) 9:30～受付 10:30～開会
2) 10:40～講義「成年後見制度の概要～特に後見人の業務の実際～」
講師 成年後見センター・リーガルサポートセンター札幌支部
司法書士 塚田 厚子氏
3) 11:30～講義「在宅生活を支える地域ケアシステムの構築について」
講師 医療法人溪仁会 西円山病院在宅ケアセンター
次長 奥田 龍人氏
4) 12:30～休憩
5) 13:30～シボゾウ「利用者が抱える生活課題と成年後見制度・地域権利擁護事業との関わり」
シボゾウ・伊達市地域生活支援センター 地域援助主査 佐々木 典子氏

- ・千歳福祉サービス公社・新富在宅介護支援センター
介護支援係長 林 富子氏
- ・札幌弁護士会高齢者・障害者センター 弁護士

8. 申込方法等：別紙の参加申込書により、平成16年1月20日(火)までに、FAX または郵送にてお申し込みください。

- 1) お申込先 北海道社会福祉協議会 地域部地域支援課(北海道地域福祉生活支援センター)
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目道立社会福祉総合センター
TEL 011-290-2941 FAX 011-271-0459(担当：平島・片山)
- 2) 昼食斡旋について
開催当日、受付の際に業者による昼食(1食：1,000円予定)の斡旋販売を行います。ご希望される方は参加申込書にご記入ください。

北海道地域福祉研究」の投稿を募集します!!

2003年度北海道地域福祉学会誌、「北海道地域福祉研究 第7巻」の投稿を募集します。

ご投稿を予定・希望される方は、2004年1月15日(木)まで事務局宛ご連絡ください。また、ご投稿される方は、下記の投稿規程をもとに2004年2月20日(金)まで【必着】に事務局宛ご投稿くださいますようお願いいたします。

北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究」編集・投稿規程

1. 本誌は、北海道地域福祉学会の機関誌であって、年1回発行する。
2. 本誌は、原則として会員の地域福祉関係の研究発表にあてる。
3. 本誌は、論文、研究ノート、実践レポート、資料、書評、その他の欄を設ける。
4. 本誌の編集は、編集委員会によって行われ、原稿の掲載は編集委員会が決定する。
5. 掲載する原稿には投稿原稿と編集委員会からの依頼原稿がある。
6. 投稿者(複数の著者がいる場合は筆頭著者)は、本会員でなければならない。
7. 投稿論文は査読に基づく審査により、編集委員会が採否を決定する。
8. 原稿は別途定める執筆要領に従うものとする。
9. 執筆要項に定められた字数等の制限を超えた場合には、審査の有無にかかわらず編集委員会から修正を求めることができる。
10. 投稿者は、編集委員会事務局に原稿のコピーを2部送付するものとする。投稿原稿は、原則として返却しない。
11. 著者校正は、1回とする。
12. 掲載論文については、掲載誌2部を進呈するが、切り刷り(別刷り)を希望する場合は、執筆者の実費負担とする。

～投稿に関するお問い合わせ先～

北海道地域福祉学会事務局 北海道社会福祉協議会 総務部企画情報課(担当：名畑)
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道立社会福祉総合センター内
TEL (011)241-3976 FAX (011)271-1977
E-mail tob01a01@wamnet.wam.go.jp

北海道地域福祉学会誌「北海道地域福祉研究」執筆要項

1. 本誌に発表する論文等は、いずれも他に未発表のものに限る。
2. 論文は図表文含めて16,000字(400字原稿用紙40枚)以内とする。
図表は、便宜上、一葉400字とする。写真を使用する場合は、モノクロを原則とし、手札サイズ(8×10)以上の紙焼とする。
3. 書評及び文献紹介は依頼原稿とし、800字から6,000字(400字原稿用紙2枚から15枚)程度の範囲で編集委員会が依頼する際に指定する。
4. 研究ノート・その他には、研究上の問題提起、内外の動向、研究プロジェクトの経過報告、他の著書・論文への批判・反論を含み、8,000字(400字原稿用紙20枚)以内とする。
5. 原稿は、横書きとし、A4判用紙に40字×40行で印字したパソコン(ワープロ)原稿が望ましい。
パソコン(ワープロ)原稿は、原稿作成に使用したパソコン(ワープロ)の機種を明記して、フロッピーもあわせて添付すること。できれば、テキストファイルでの保存フロッピーが望ましい。
6. 文体は口語調の「である」調、文字は新かなづかい、当用漢字を原則とする。
7. 論文の構成は、タイトル、執筆者名、本文、注、文献の順とする。
8. 本文中の見出しは、以下のように統一する。
1. 2. 3. ...「章」に相当
(1)(2)(3) ...「節」に相当
.「項」に相当
9. 本文中の注番号は、該当箇所の上肩に1) 2) 3) ...で表示する。
10. 引用文献は、本文の該当箇所に[執筆者名(姓のみ、共著・編者の場合は1名のみ掲載して「○○他」とする)、西暦発行年：引用ページ]を示し、タイトル等は後の「文献」のところに一括して表示する。
<例> [山田、1990：22][Bledy、1992：1-25]
11. 「文献」は、著者名のアルファベット順に、次のことを表示する。
 - 1 著者名(外国人の場合も姓を最初に)
 - 2 タイトル
 - 3 掲載誌名(通巻番号)
 - 4 西暦発行年
 - 5 出版社名
 - 6 掲載ページ
12. 図表番号は、「図-1」「表-1」のように示し、それぞれ通し番号とする。
13. 図表のタイトルは図表の上につける。
14. 図表を他の著作物から引用する場合には、出典を図表の下に明記し、必要に応じて原著者または著作権所有者からの使用許可を得ておくこと。
15. 図表には一葉ごとに台紙に貼り、それぞれの挿入箇所は原稿の左余白に赤字で指示する。
16. 原稿には表紙を付け、タイトル・執筆者名・執筆者肩書・連絡先(住所と電話番号・FAX番号を)記入する。
17. 文末に論文のキーワードを5語以内でいれる。

～最近の掲載内容紹介～

2001年度(2)

- 記念講演** ・ 変わる福祉と変わらない価値(阿部 志郎)
- 研究論文** ・ 痴呆性高齢者の療養看護に対する寄与分(北村 久美子)
- ・ 要介護者の介護環境と地域格差
～訪問介護サービス利用者の首都圏・宮城・北海道の地域比較～(梶 晴美)
- ・ ボランティアセクターと公共性の再編
～北アイルランドの地域健康教育の実践を例として～(武田 るい子)
- 実践レポート** ・ 札幌市における福祉除雪の現状と課題について(大内 高雄・小平 正治)
- 文献紹介** ・ 「HACCプログラムに関する調査報告」(石川 秀也)
- 資料** ・ 「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会」報告書

2002年度

- 研究論文** ・ 地域福祉権利擁護事業と利用者保護制度の課題(白戸 一秀)
- ・ 障害児の親たちによるセルフ・ヘルプ活動の展開と意義
～マザーグースの会の分析～(武田 るい子)
- ・ 痴呆性高齢者グループホームにおける健康管理の実態
～施設担当者に対する面接調査をとおして～(樋口 佳奈子・平野 恵子)
- 実践レポート** ・ 地域福祉活動計画策定の考え方と推進の視点
～北海道社会福祉協議会 第3期地域福祉実践計画の取組みについて～(高橋 修一)
- 海外福祉事情** ・ ハワイの福祉を学ぶ ～カウアイ・オアフ福祉紀行～(忍 博次)

事務局よりお知らせ

住所変更について

会員の方で、所属先や自宅の住所・電話番号の変更や今回送付させて頂きました学会ニュースなどの送付先に変更がありましたら、ご面倒でも事務局までご連絡ください。またお知り合いの方で入会希望の方がおりましたら、随時受付けておりますので、お知らせください。

学会費の納入について

2003年度の学会費、または過年度分の学会費(年間5,000円)をお納めになっていない方につきましては、お早めに下記までお納め下さい。

郵便振替口座 02700-0-146963 北海道地域福祉学会

北海道銀行 道庁支店 (普通)0582633 北海道地域福祉学会

編集後記

学会ニュースに掲載する記事を随時募集しています。図書・報告書などまとめられた方、講演会や研修会を開催する予定などございましたら、ニュースに掲載したいと思いますので、お知らせください。

また、定例研究会のテーマ・報告者等ご希望がありましたらお聞かせください。

それでは良いお年をお迎えください。<事務局>

～北海道地域福祉学会事務局～

北海道社会福祉協議会 総務部 企画情報課(担当:名畑)

〒060 0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 道立社会福祉総合センター内

tel (011)241 3976 fax (011)271-1977

E-mail T0B01A01@wamnet.wam.go.jp